

「窓ガラスの日」及び「防災安全合わせガラス」が「BL- bs認定」を取得

2020年10月9日

<「窓ガラスの日」について>

ガラスは透明（トーマイ）であり、高機能ガラスは防災安全合わせガラスやエコガラスに代表されるように2枚のガラス仕様であることから、トーマイ&トーマイを10（トー） & 10（トー）と読み替え、2019年10月に機能ガラス普及推進協議会が**10月10日を「窓ガラスの日」**と制定いたしました。

10月は「住生活月間」であり、また10月10日は「住宅部品点検の日」でもあるため、10月10日は、窓ガラスのお手入れ・点検を意識していただくため記念日として制定いたしました。

<「BL-bs部品」とは>

近年、環境保全や高齢化、防犯性の向上などへの消費者の関心が高まっており、住宅部品もこのような社会的要請に応える性能を持つことが望まれているという観点から、一般財団法人ベターリビングが既存のBL部品に社会的要請に応える性能が追加された住宅部品として「BL-bs部品」を認定しています。

「BL-bs部品」が規定する社会的要請への対応を先導するような特長は以下の5つです。

- 1 環境の保全に寄与する特長
- 2 社会の資産としての住宅ストックの形成・活用に寄与する特長
- 3 高齢者・障害者を含む誰もが安心して生活を送ることができる社会の実現に寄与する特長
- 4 防犯性の向上に寄与する特長
- 5 その他より良い社会の実現に資する特長

今回の防災安全合わせガラスは上記5つの条件のうち

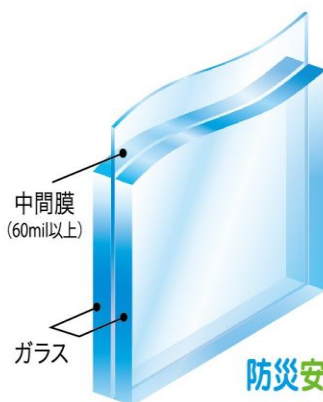
「5 その他より良い社会の実現に資する特長/防災対策」を有すると認定されました。



<「防災安全合わせガラス」について>

「防災安全合わせガラス」とは、2枚の板ガラスの間に合成樹脂の中間膜（60mil以上）をはさみ、熱と圧力で圧着した合わせガラスのことです。2枚のガラスが強力に接着されているので、耐貫通性に優れ、万一破損しても破片がほとんど飛び散りません。ガラスの飛散を防ぐことで自宅での避難も可能となり、避難所での3密回避にもつながります。また優れた防犯や防音性のほか、中間膜によって紫外線をほぼ100%カットし家具や壁の色あせを防ぐ効果があります。住宅だけでなく災害時の避難所となる小中高等学校などにも取り入れて頂きたい商品です。なお、今回BL-bs認定を取得するのは、単板仕様の防災安全合わせガラスですが、今後、防災安全合わせガラスを構成部材とした複層ガラスやLow-E複層ガラス仕様等のバリエーションを充実させていく予定です。

※「防災安全合わせガラス」は板硝子協会の会員であるAGC（株）、日本板硝子（株）、セントラル硝子（株）が製造する合わせガラスの共通呼称です。



防災安全合わせガラス

**「屋根瓦の破片相当」以上の
飛来物の衝突に対する安全
性**
(中間膜厚60ミル以上)

**防犯性能の高い建物部品
「CPマーク」の使用が認めら
れた防犯性**
(中間膜厚30ミル以上)

人体衝突時の安全性

**地震時の建物の
変形によるガラス破片の飛散
防止性**

<「板硝子協会会員各社の「BL-bs部品認定製品」>

AGC（株）ラミセーフシールド

日本板硝子（株）ラミペーンシールド

セントラル硝子（株）ラミレックスBb